

ダム操作に関する用語等の見直し

- 河川及び防災関係用語は、「洪水等に関する防災用語改善検討会」の提言に基づき見直しを行い、「洪水等に関する防災情報体系の見直しについて」(平成18年10月1日国河情第3号国土交通省河川局長)で全国に通知、その活用を実施中です。
- ダム操作関係用語はまだ見直しされておらず、以前より報道機関等からわかりにくいとの指摘や洪水時における誤解報道もありました。
- 今般、地整の試行結果などをもとにダム操作に係る説明方針と用語の見直しをとりまとめ、積極的な活用と関係機関への周知を平成22年6月8日付け流水管理室長名で各地整、道府県へ通知・依頼しております。
- 今後広く意見を募ることとしておりますので、今回の取り組みを契機として、地域の方々がダムの役割を正しく理解していただくためのダムの情報提供のあり方について、関係者が問題意識を持って積極的に考えて頂くことを期待しています。

見直しのポイント

1. ダム操作に関する説明は、文章で丁寧に伝える
2. 下流地域住民や河川利用者の視点にたった情報とする(「～のため」+「～という操作をする」+「～となるので～してください」)
3. 文字数制限がある場合には簡易で誤解のないような用語とする(洪水時の操作は「防災操作」)
4. 本見直しは直ちに法律、政令等の改訂をするものではなく、引き続き関係自治体、報道関係者等の声を聞きつつ改良をしていく

ダム操作に関する用語等の見直し

見直し前	
用語	状態
放流	平常時の不特定用水及び水道用水の補給
放流	平常時の発電のための放流
予備放流	出水前にダムの空容量を確保するために水位を低下
放流	出水終盤に次の出水に備えるため、ダムの空容量を確保
洪水調節	出水をダムに貯め込んで川の流量を低減
ただし書き操作	大きな出水によりこのままでいくとダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じたため、あと〇〇時間後に放流量を増加する操作に移行
	大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じたため、流入量と同じ放流量に移行するため放流量を増加
	大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切ったことから流入量と同じ流量を放流している状態

見直し後					
基本方針 『出来るだけ誤解が生じないように文章で表現する』 表示例「～のために、～という状態、～してください」 →（「操作の目的」+「ダム操作の状態」+「注意・警報文」）			字数に制限がある場合のダム操作に関する用語		説明を求められたときの操作の理由
～のため	～という状態	～してください <small>※状況に応じて適宜使い分け</small>	ダム操作の状態	河川利用者に向けた注意・警報文 <small>※下流河川の状況に応じて適宜使い分け</small>	
川の水を補う	ダムに貯めた水を下流に流している。	—	通常操作	—	河川水補給
水力発電					発電放流 <small>※従属発電等川の水位変化がわずかな場合</small>
水力発電	ダムから下流へ水を流している。		発電操作		発電放流
大雨に備えて必要なダムの洪水貯留容量を確保する	ダムから水を流している		防災操作		大雨準備
次の大雨に備える	ダムから水を流している			貯水容量回復	
川の増水を少なくする	ダムに流れ込む水を貯めて川の水量を減らしていますが、大雨により川の水位が上昇しています。	川から出てください。 川やダムの情報に注意して下さい。	防災操作	増水注意 川から出てください。 増水注意 川やダムの情報に注意して下さい	貯水
ダムが満水に近づいているため	〇〇時間後から貯められる量が徐々に減ることになります	川から離れてください。 市町村の避難情報に注意して下さい。		増水危険 川から離れてください。 増水危険 市町村の避難情報に注意して下さい	貯水可能量減少見込み
ダムが満水に近づいているため	貯められる量が徐々に減っているため下流河川の水位が上昇しています。		防災操作(異常洪水)		貯水可能量減少
ダムが満水に達したため	ダム湖に貯められなくなり、流れ込んでいる水を通過させています。				流入水通過